

Tenox REPORT

45th

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える

第45期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日

トップインタビュー

増収増益、高水準の受注残
今後の3つの取り組み

News & Topics

ピュアパイル工法が躍進!
実績棟数が、前年比33%増加

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先・ 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
証券コード	1905
公告掲載URL	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/1905/1905.html 当社の公告は電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 東京都内において発行する日本経済新聞に掲載 して行います。



〒108-8380
東京都港区芝五丁目25番11号 ヒューリック三田ビル 5F

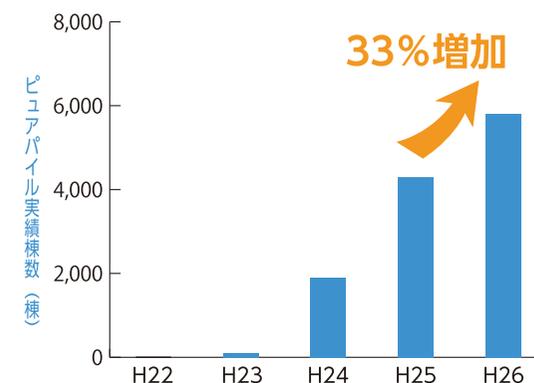


News & Topics

ピュアパイル工法が躍進! 実績棟数が、前年比33%増加

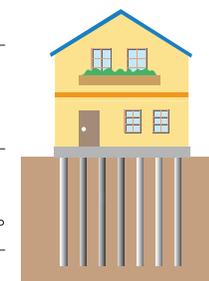
平成26年度の新設住宅着工戸数は、消費増税の影響を受け、前年比10.8%減の88万戸となりましたが、弊社の戸建て向け住宅地盤補強のピュアパイル工法は、高い品質とコストメリットが市場に受け入れられたことにより、前年比33%増加しました。

ピュアパイル工法実績推移



ピュアパイル工法の特長

- 1 柱状改良工法より
3倍強い!
- 2 工期は柱状改良工法の
約半分!
- 3 残土処分は不要!
現場や道路を汚しません。
- 4 性能が
証明されています。



証券コード 1905

株式会社テノックス



代表取締役社長 菱山 保

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、平成27年6月26日付けで代表取締役社長に就任いたしました菱山 保でございます。同日開催の株主総会でご承認いただいた社外取締役1名を含む取締役4名とともに新たな経営体制を構築し、弊社グループの一層の発展を目指してまいります。株主の皆さまのご期待に添えるよう全力を尽くす所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては、ますますのご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

増収増益、高水準の受注残

当期の建設市場は、震災復興工事や防災・減災関連工事などの官公庁工事が数多く発注となりました。一方、住宅投資は消費増税後の反動から前年と比較して減少しました。

このような状況において、弊社グループは多くの大型工事を受注し、「安全と品質」を心掛けた施工を行ってまいりました。

この結果、当期の売上高は224億27百万円(前期比3.8%増)、経常利益は16億10百万円(同15.5%増)、当期純利益は8億61百万円(同65.1%増)となり増収増益を確保しました。また、受注残高は94億60百万円(同48.4%増)と前年度を大きく上回る結果となりました。

大型工事が業績に寄与

当期におきましては、大型プロジェクトの「豊洲新市場」が平成26年12月に無事完工し業績に大きく寄与しました。また、震災復興、高速道路関連、沿線の物流・商業施設等、大型工事を数多く受注しました。これは弊社工法のもつ「環境に優しい」「品質が良い」という独自性が評価されたことによるものであります。これらの工事は今後も発注が見込まれており、弊社グループをとりまく事業環境は中期的に追い風となることが予想されます。

一方、住宅関連需要は消費増税の反動で新設住宅着工戸数が前期と比較して減少しましたが、戸建住宅向け地盤補強の「ピュアパイル工法」は、品質管理とコストパフォーマンスに優れていることが評価され、実績を大きく伸ばす

ことができました。

今後の3つの取り組み

このように弊社グループの当期業績は順調に推移しました。今後は次の3点について重点的に取り組んでまいります。

1つ目は、安全と品質に加え、採算性の向上を目指してまいります。安全・品質にこだわる中で、徹底した原価管理によってコストパフォーマンスを高め、競争力と顧客満足度の向上に努めてまいります。

2つ目は、震災復興支援の強化です。今後、復興需要の増加が見込まれる福島県において、弊社は平成27年4月1日に郡山出張所を開設しました。これにより、域内サービスの充実を図り復興支援を進めてまいります。

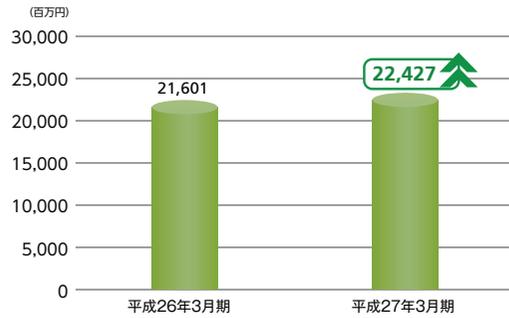
3つ目は、新たな市場への取り組みです。国内では、2020年の東京オリンピックを契機に、これまでに構築した社会インフラが耐用年数を迎え、維持・補修・更新が急激に増加することが想定されています。このことを視野に入れ、新たな事業開拓に取り組んでまいります。また、海外事業としてベトナムを足がかりにASEAN諸国のインフラ整備等を視野に入れた新たな開拓に取り組んでまいります。

弊社グループとしましては、これら3つの取り組みを実現させるため、あくなきチャレンジ精神と技術力をもった人材の育成を継続的に行い、企業価値の向上を図ってまいります。

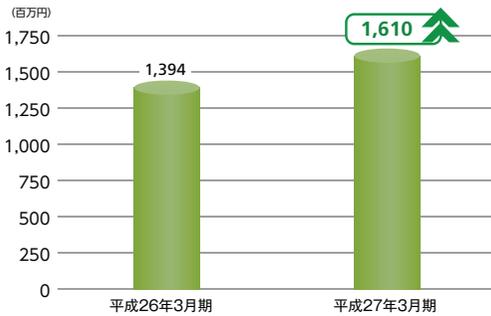
株主の皆さまには、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年3月期 連結業績ハイライト

売上高



経常利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



平成27年3月期 連結決算概況

連結貸借対照表

(単位：千円)

	前期末 平成26年3月31日現在	当期末 平成27年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	13,623,999	13,751,033
固定資産	2,812,543	3,159,193
有形固定資産	2,201,238	2,673,094
無形固定資産	114,812	104,811
投資その他の資産	496,492	381,287
資産合計	16,436,543	16,910,227
● 負債の部		
流動負債	6,277,902	5,804,838
固定負債	1,336,404	1,290,611
負債合計	7,614,306	7,095,450
● 純資産の部		
株主資本	8,189,133	8,940,270
資本金	1,710,900	1,710,900
資本剰余金	2,346,319	2,346,319
利益剰余金	4,411,515	5,163,024
自己株式	△ 279,600	△ 279,972
その他の包括利益累計額	47,123	35,969
その他有価証券評価差額金	49,060	30,368
為替換算調整勘定	△ 1,936	5,600
新株予約権	16,058	35,983
少数株主持分	569,921	802,553
純資産合計	8,822,236	9,814,776
負債純資産合計	16,436,543	16,910,227

連結損益計算書

(単位：千円)

	前期末 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当期末 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	21,601,584	22,427,809
売上原価	18,305,814	18,834,417
売上総利益	3,295,770	3,593,392
販売費及び一般管理費	1,981,044	2,051,785
営業利益	1,314,726	1,541,606
営業外収益	130,754	80,321
営業外費用	51,366	11,277
経常利益	1,394,113	1,610,650
特別利益	51,413	32,987
特別損失	24,757	10,213
税金等調整前当期純利益	1,420,769	1,633,424
法人税等	500,357	545,896
少数株主損益調整前当期純利益	920,412	1,087,528
少数株主利益	398,545	225,678
当期純利益	521,867	861,849

自己資本比率(連結)

	前期末 平成26年3月31日現在	当期末 平成27年3月31日現在
自己資本比率(連結)	50.1%	53.1%

会社概要 (平成27年3月31日現在)

商号	株式会社テノックス		
設立	昭和45年7月8日		
資本金	17億1,090万円		
従業員数	383人(連結)		

役員体制 (平成27年6月26日現在)

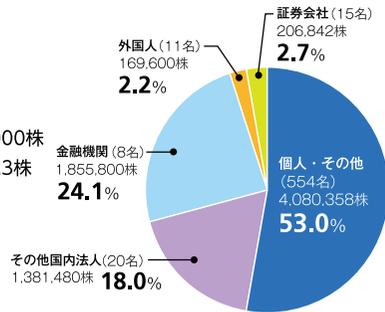
代表取締役社長	菱山 保	執行役員	坂口 卓也
取締役常務執行役員	金丸 英二	執行役員	齋藤 光則
取締役執行役員	佐藤 雅之	執行役員	齋藤 貴
取締役	田中 啓三	執行役員	高橋 勝規
取締役	大森 勇一	執行役員	堀切 節
常勤監査役	神林 昭夫	執行役員	倉島 孝
監査役	藍田 耕毅	執行役員	児玉 勝久
監査役	竹口 圭輔		

- ※1. 取締役大森勇一氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- ※2. 監査役藍田耕毅氏及び監査役竹口圭輔氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- ※3. 監査役藍田耕毅氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 21,640,000株
 発行済株式総数 6,895,723株
 (自己株式798,357株を除く)
 株主数 608名



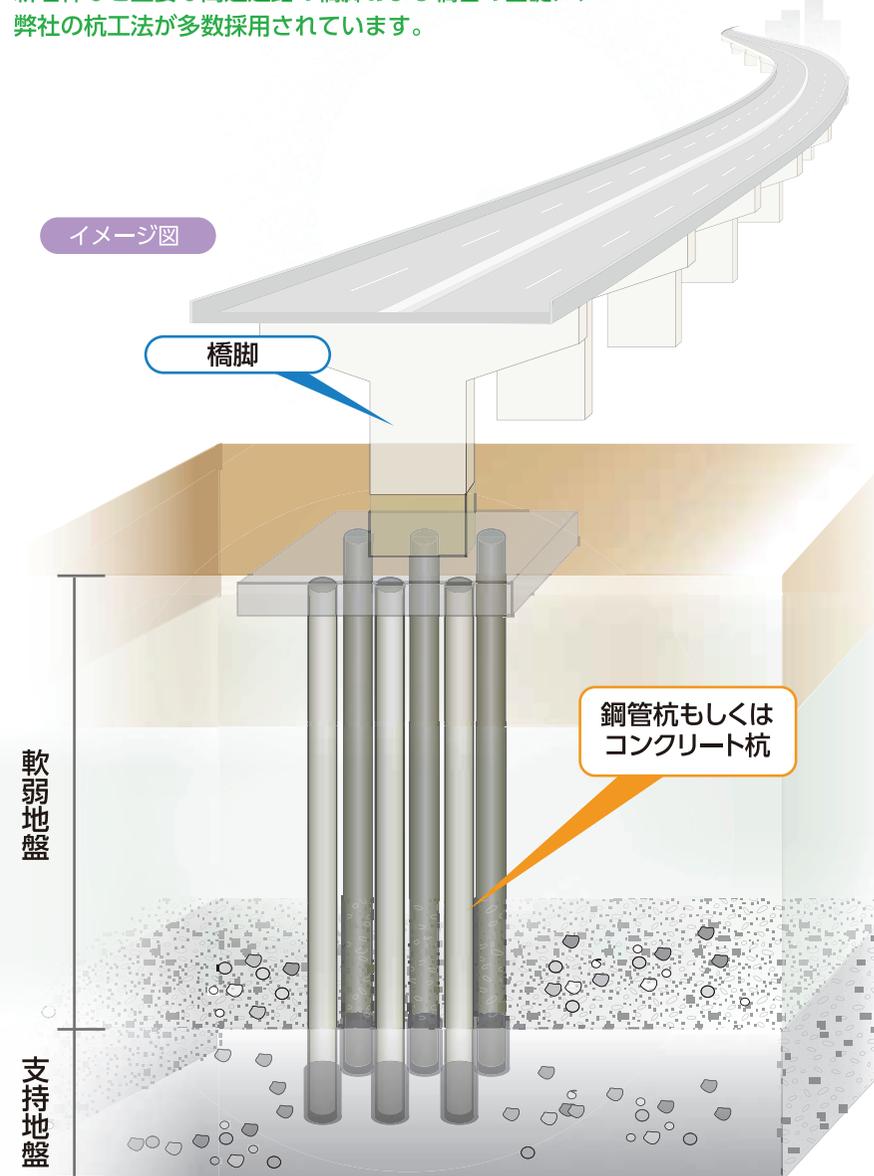
※自己株式798,357株については個人・その他に含めています。

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	613,000	8.88
住商セメント株式会社	432,000	6.26
株式会社みずほ銀行	331,980	4.81
三菱商事株式会社	317,020	4.59
テノックス従業員持株会	299,940	4.34
明治安田生命保険相互会社	253,000	3.66
樽澤 憲行	233,840	3.39
太洋基礎工業株式会社	230,000	3.33
小川 恭弘	223,000	3.23
株式会社三井住友銀行	220,220	3.19

※当社は自己株式を798,357株保有しておりますが、上記大株主より除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

全国の道路インフラの安心・安全を支えるテノックスの基礎工事

首都圏の環状線^{※1}、名古屋の2つの環状線^{※2}ならびに新東名、新名神など主要な高速道路の橋脚および橋台の基礎に、弊社の杭工法が多数採用されています。



ガンテツパイル工法の施工風景(東京外かく環状道路)

多数の工法が採用されています

鋼管杭	ガンテツパイル工法
	TN工法
	NSエコパイル工法
コンクリート杭	CMJ工法
地盤改良	CDM工法

主な高速道路基礎の工事実績

- 東京外かく環状道路
- 首都圏中央連絡自動車道
- 新東名高速道路
- 東海環状自動車道
- 名古屋環状2号線
- 新名神高速道路
- その他

※1 首都圏の環状線とは、「圏央道(首都圏中央連絡自動車道)」、「外環道(東京外かく環状道路)」 ※2 名古屋の2つの環状線とは、東海環状自動車道、名古屋環状2号線